

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	保健所管理運営事業			事業コード	2470
所属コード	069100	課等名	企画総務課	係名	企画総務係
課長名	川 村 智	担当者名	齋藤 美希	内線番号	691-6614
評価分類	☐ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☒ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	健やかに暮らせる健康づくりの推進	コード	1
	基本事業	健康の保持増進	コード	1
予算費目名	一般会計 4 款 3 項 1 目 保健所管理運営事業（002-01）			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	平成 20 年度
根拠法令等	地域保健法，建築物における衛生的環境の確保に関する法律，消防法，廃棄物の処理及び清掃に関する法律，電気事業法，盛岡市下水道条例			

(2) 事務事業の概要

盛岡市保健所及び高松・都南・飯岡地区保健センターの施設維持管理を行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

- ・平成 20 年 4 月 1 日, 盛岡市が中核市に移行したことに伴い, 地域保健法第 5 条第 1 項に基づき盛岡市保健所を設置したことにより, 事業を開始した。
- ・都南地区保健センター（昭和 55 年竣工）が平成 4 年度旧都南村との合併をもって, また飯岡地区保健センターが平成 11 年度の竣工によって, 保健センターの所管となっていたが, 保健センターが平成 20 年 4 月 1 日をもって盛岡市保健所に機能移転したことにより, 当該事業を所管することとなった。
- ・旧競馬場跡地に, 市民の健康づくりの拠点として高松地区保健センターを整備し, 平成 21 年度から供用を開始した。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

環境問題や省エネルギーへの関心が高まる中, 職員個々の意識の向上を図り, 光熱水費の抑制に努めることが必要となっている。

また, 施設数に変更はないものの, 経年による劣化等が見られることから, 計画的な保全・修繕が必要となってきている。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が，何が対象か）

- ・盛岡市保健所庁舎（高松・都南・飯岡地区保健センターを含む。）
- ・職員
- ・来庁者

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 市保健所庁舎延床面積	m ²	6,765.36	6,765.36	6,765.36	6,765.36	6,765.36
B 市保健所勤務職員数	人	97	97	98	98	98
C						

（3）24 年度に実施した主な活動・手順

- ・庁舎設備の維持管理・清掃・警備・点検等を業務委託により実施した。
- ・凍結により故障した都南地区保健センターの自動ドアの修繕を行った，
- ・都南地区保健センターのプロパンガスメーターなどの機器交換を行った。

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 庁舎設備保守管理委託業務数	業務	17	17	17	17	17
B 庁舎修繕等実施件数	件	9	5	6	7	7
C						

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

- ・庁舎設備を安全で清潔，快適な状態に整備する。
- ・庁舎設備に故障等の不具合が生じた場合には，速やかに修繕を実施する。

（6）成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 庁舎設備保守管理委託業務数	☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持	業務	17	17	17	17	17
B 庁舎修繕等実施件数	☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持	件	9	5	6	7	7
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22 年度実績	23 年度実績	24 年度計画	24 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	18,718	9,048	20,793	8,809
	⑤その他()	千円	12,914	21,941	14,030	22,532
	A 小計 ①～⑤	千円	31,632	30,989	34,823	31,341
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,440	1,440	1,440	1,440
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	5,760	5,760	5,760	5,760
計	トータルコスト A+B	千円	37,392	36,749	42,023	38,541
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

- ① 施策体系との整合性
- ② 市の関与の妥当性
- ③ 対象の妥当性
- ④ 廃止・休止の影響

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

関係法令等を遵守し、適切に施設の維持管理を行なっている。

今後、市の保健衛生活動の拠点として、より一層の安全性の確保と、緊急時の対応が可能な環境の整備が必要となる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

(4) 効率性評価

事業費等の削減について、業務委託料等の費用は固定的経費のため削減は困難であるが、光熱水費の抑制に取り組むことにより事業費の削減が可能である。

なお、人件費については、事業実施に係る業務量の削減は見込めないことから、現状が必要最低限のものであり削減は見込めない。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 改革改善の方向性

庁舎内の電灯に節電効果の高い LED 電球を使用することで、従量的経費である光熱水費の抑制に努め、事業費の削減を図る。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

LED 電球の導入については初期投資が高額である。この問題を解消するため、リース契約を導入するなど初期投資を抑制し、効果的な経費削減を図る必要がある。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

各課グリーンオフィス主任と連携し、所内全職員の節電・節水など経費の節減意識の更なる向上を図り、光熱水費等の抑制に努める。

特に、LED 電球をリース契約により設置し、経費削減を図る。